適正な年齢構成の実現について

滋賀大学では、「国立大学法人滋賀大学人事基本方針」を定め、「未来創生」型の文理融合教育、価値の創造に貢献する研究の推進を進め、社会との連携・協働を通じ、社会・地域のイノベーションを創出する拠点としての機能を強化していくことを目指し、中長期的な財政展望を踏まえ、多様性を重視した教育研究組織の充実と持続可能な発展に向けて、適正な人事政策を進めています。

適正な年齢構成については、知の集積拠点として、持続的に新たな価値を創出し、発展し続けるための基盤を構築するため、若手教員の比率向上に重点を置く必要があることから、全学として若手教員比率 16%以上の達成を目標値として設定している。

【大学教員の年齢構成における目標比率】

若手教員（４０歳未満）　　１６％以上

【参考】

大学教員における年齢階層ごとの在職比の推移

第 4 期中期目標・中期計画期間　　各年度 5 月 1 日現在

年度	若手教員 （40 歳未満）	中堅教員 （40 歳以上～60 歳未満）	シニア教員 （60 歳以上）
令和 4 年度	12.8%	68.0%	19.2%
令和 5 年度	14.1%	66.5%	19.4%
令和 6 年度	14.1%	65.4%	20.5%

※学長、副学長、理事、助手を除く